

スズキと glafit、ペダル付電動バイクの安全な普及促進を目的とした 協業に向けた検討を開始

～安心・安全な次世代電動パーソナルモビリティの実現を目指して～

スズキ株式会社(本社:静岡県浜松市、代表取締役社長:鈴木俊宏、以下「スズキ」)と glafit 株式会社(読み: グラフィット、本社:和歌山県和歌山市、代表取締役社長 CEO:鳴海禎造、以下「glafit」)は、ペダル付電動バイク(電動モペッド)の安全な普及促進を目的とした協業の検討にかかる覚書を2026年1月に締結しました。

■協業検討の背景

2023年7月の「特定小型原動機付自転車」新設以降、環境負荷の低減や都市部における新たな移動手段の1つとして、電動パーソナルモビリティへの関心が高まっています。特にペダル付電動バイクは、手軽で環境に優しい移動手段として注目を集めていますが、その一方で、安全な利用環境の整備や正しい知識の普及、保安基準を満たした製品の販売などが課題となっています。

二輪車メーカーとして長年の実績を持つスズキが、2017年の創業からペダル付電動バイクを開発・製造・販売してきた glafit と、本協業の検討を通じて両社の強みを活かし、より安心・安全なペダル付電動バイクの普及を推進します。

■協業検討の内容

本協業検討では、以下のテーマについてワーキンググループを設置し、協議を進めます。

・ペダル付電動バイクの安全な普及促進

両社は協力して、安心・安全なペダル付電動バイクの普及に向けた取り組みを検討します。正しい知識の啓発活動や、安全な利用環境の整備に向けた広報活動などを積極的に展開します。

尚、本覚書に基づく検討の結果、具体的な業務提携を実施する場合には、改めて正式な契約を締結し、詳細をお知らせします。

■両社のコメント

スズキ株式会社 常務役員 二輪事業本部長 伊勢 敬

カーボンニュートラル時代の到来を背景に、お客様の生活を支える新たな移動手段としてのモビリティには大きな可能性が広がっています。一方で、これまでにないモビリティであるがゆえに、利用されるお客様のみならず、周囲の皆様にも、その特性や関係する法規について正しく理解いただくことが重要であると考えています。

スズキが今後、ペダル付電動バイクを世に送り出すにあたり、お客様に安心してご利用いただける環境を整えることが不可欠です。その実現に向け、当分野の先駆者である glafit 株式会社様と連携し、知見を共有しながら、社会的な理解促進や課題解決に取り組んでまいります。

glafit 株式会社 代表取締役社長 CEO 鳴海禎造

創業以来、『移動を、タノシメ!』をコンセプトに、ペダル付電動バイクの可能性を追求し GFR シリーズを開発販売してまいりました。この度、日本を代表する二輪車メーカーであるスズキ株式会社様との協業検討により、より安全に、より多くの方にペダル付電動バイクを通じた移動の楽しさを広めていけると考えています。この協業を通じて、ペダル付電動バイクに留まらず、電動パーソナルモビリティ市場全体の健全な発展に貢献してまいります。

【スズキ株式会社の概要】

所在地 : 静岡県浜松市中央区高塚町 300
代表者 : 代表取締役社長 鈴木俊宏
設立 : 1920 年 3 月
主要製品 : 四輪車・二輪車・船外機・電動車いす等
公式サイト : <https://www.suzuki.co.jp/>

【glafit 株式会社の概要】

所在地 : 和歌山県和歌山市梅原 579-1
代表者 : 代表取締役社長 CEO 鳴海禎造
設立年月日 : 2017 年 9 月 1 日
公式サイト : <https://glafit.com/>

以上